

よく見聞き考えて

十月七日 投票日

衆議院議員総選挙 最高裁判所裁判官国民審査

明るい政治は、明るい選挙から始まりきれいな政治はきれいな選挙から始まります。ところがいままでの選挙は明るくきれいに行われているとはいえません。ルールが十分に守られず何よりも選挙に金がかかりすぎます。



有権者の望むもの
このたびの総選挙はエネルギー問題・物価問題・雇用問題・租税、財政問題等当面の緊急課題をはじめ八十年代の日本の針路を託す人を選ぶ重要な選挙です。この選挙にあたって政党及び立候補者の皆

みんな投票をよびかけ、「たいせつな一票を自分の判断で」……と啓発宣伝カーで町内を巡回しています。



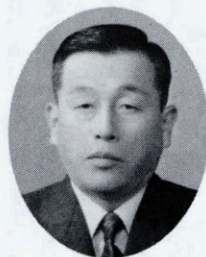
さんはあくまでもルールにしたがった公正な運動をされることを望みます。それは、主権者たる国民にたいする政党及び立候補者の厳粛な義務です。

たいせつな一票

また、有権者の皆さんはこの際改めて主権者としての権利と義務に思いを致し自由で良識のある投票をされることを望みます。よく見、よく聞き、よく考えて自信をもって投票しましょう。



私の意見



自らの意志で、自らの手で、住みよい近隣社会をつくって行くことは、住んでいる人達の責任だと思ふ。コミュニティーの場……自治会組織の中から、スポーツを愛し子どもを愛する人達が、子どもの健全な育成に何か役に立つことはないか。……そこで幅広いスポーツ活動を通してよりよい人間造りをめざすには地域に密着したより活発な継続的活動が必要であると云うことから、スポーツ少年団（現在六部落）が結成されボランティアの指導者により、活動を初めて三年目を迎える。

今迄の活動をふりかえって感ずることは、少年達を取りまく現代社会には、子どもも持っている可

能性への芽生えに制約を加える「時と場」が多い様に思われる。現代の子どもに、きびしき・つらさに耐えることを教えることは必要なことであり「たえる」と云うことから「できるんだ」と云う喜び満足感そしてこれが自信へと結びつき意欲へとつながっている。多くの仲間を通して、ふれあいの中から又人間変容の面からも大きな役割りを果たしていると思う。今年には国際児童年である。願わくは未来のある子どものよき幸せ、成長のためのスポーツ少年団の今後の発展を期待したい。

十月十日は、東京オリンピックの開会式の日を記念とした国民の祝日「体育の日」である。健康で明るく、心豊かな生きがいのある生活を送るため、生涯にわたってスポーツに親しむことが大切である目下県民スポーツ総参加運動（インディアカ・走ろう歩こう、明るい県民体操）が強力に推進されている。意義ある祝日を契機としてみんなが何かのスポーツに契機として、体を鍛えスポーツを通じて人と人の連帯感をよりよくし一層若々しく生きるためにスポーツの生活化を図りたいものである。

中村 熊野 正

ジョッキングをしよう

ジョッキングとは、もともと「そっと押す」とか「ゆっくり進む」という意見ですが、体力づくりの上では「全身の力をぬいて、ゆっくり走る」とされています。そのスピードは、おしゃべりしながら走る程度で、スピードやタイムを競うものではありません。あ

くまでマイペースで、あせらず、ゆっくりーこれが基本です。十月は「体力づくり運動強調月間です」で今年のテーマは、歩け走ろう、です。

この機会に、あなたもジョッキングを始めませんか。